

<令和7年度実績>

1 ヤングケアラー・コーディネーターの配置

こども家庭センター（子育て支援課内）にヤングケアラー・コーディネーターを配置して相談・支援を行うとともに関係者等への研修や市民の理解を深めるための啓発を行った。

2 ヤングケアラーに関する調査の実施

本市におけるヤングケアラーの実態を把握し、支援を必要とするヤングケアラーとその家族に対する具体的な支援の在り方を検討することを目的に調査を実施した。また、調査実施後に各小中学校に聞き取りを行い、支援が必要な子どもの洗い出しを行った。現在、ケースとして対応中。

(1) ヤングケアラー学校調査

- ・回答：市内小中学校 22校
- ・調査期間：令和7年7月～8月
- ・調査結果：ヤングケアラーとして22人（小学生6人、中学生16人）の報告があった。

3 ヤングケアラー相談カード（こども向け）の配布

ヤングケアラーへの理解と相談窓口の周知を図ることを目的に市内小中学生及び高校生を対象に相談カードを配布した。

- ・対象者：市内小学5年生から中学3年生までの全児童生徒 1,902人
市内府立高校4校（各50枚）
- ・配布日：令和7年5月1日

4 普及啓発の実施

ヤングケアラーを早期に発見し、適切な支援につなげることができるよう、市民を対象に普及啓発活動を行った。

(1) 街頭啓発の実施

- ・実施日：令和7年11月12日（水） 17時30分～18時00分
- ・啓発グッズ配布数：300セット
- ・いじめ防止・こども虐待防止街頭啓発と同日実施

(2) 出前講座の実施

演題：「京丹後市のヤングケアラー支援」

- ・受講者：網野町民生児童委員協議会 35人
- ・実施日：令和7年8月21日（木） 13時30分～14時30分
- ・受講者：峰山町民生児童委員協議会 36人
- ・実施日：令和7年8月28日（木） 13時30分～14時30分